



都市・農村交流拠点

NPOによる農ある暮らしの交流拠点

農の駅 あぐらって長岡（新潟県長岡市）

■ プロジェクト実現のプロセス

新潟県長岡市は市内の中央を日本最大級の大河である信濃川が流れており、平成17年度の市町村合併によって中山間部から海岸部までの個性豊かな地域で構成されるようになった。

平成16年度に起きた大規模な水害や、同年の中越大地震など度重なる被害に見舞われた長岡市では、市民と行政が力を合わせて地域復興に取り組んでおり、この経験が市民活動の活性化や協働のまちづくりに活かされつつある。

このプロジェクトは、災害からの地域復興と、合併した多様な地域間の交流を目指し、市内の都市部に住む住民が普段から農ある暮らしを楽しむことのできる環境づくりを行うと共に、農業の持つさまざまな魅力や可能性

を発信する拠点づくりを行うものである。平成17年度から市民参加のプロジェクトチームで検討や実験を重ね、この成果を活かして平成19年度より指定管理者による運営がはじまった。名称も「ふるさと体験農業センター」から、一般市民による公募で決めた「農の駅 あぐらって長岡」に変更された。

■ 主体の取り組み

指定管理者である「NPO法人ながおか生活情報交流ねっと」では、まず市民が農ある暮らしの楽しさを実感できることが大事と考え、市民のニーズや時代にマッチした体験メニューの開発を積極的に行っている。また現在、数組の首都圏住民が棚田オーナー制度や市民農園を利用しているが、徐々に都市部との交流を広げていく

予定である。

■ ネットワークの仕組みと工夫

市民参加プロジェクト「農の駅づくりワーキング」の全体イメージ

もともと指定管理者制度は、官から民へと運営を移行する中で、民が持つノウハウや自由な発想で市民サービスを向上させることを目指している。ところが在来からの規制や行き過ぎた評価システムが指定管理者を委縮させ、逆に市民サービスの質が低下したという施設も少なくない。しかし、当施設では、指定管理者に移行するタイミングで市民参加による施設の活用方法の検討や体験メニューなど実験的な運用を行い、指定管理者による運営以後もNPOの自主事業の中で市民が主体として活躍できるよう工夫した。平成19年度の長岡市指定管理



施設の全体マップ



農食まるごと体験。枝豆の収穫



ラベンダー栽培と工芸体験。挿し木の講習



市民農園(1区画10坪)

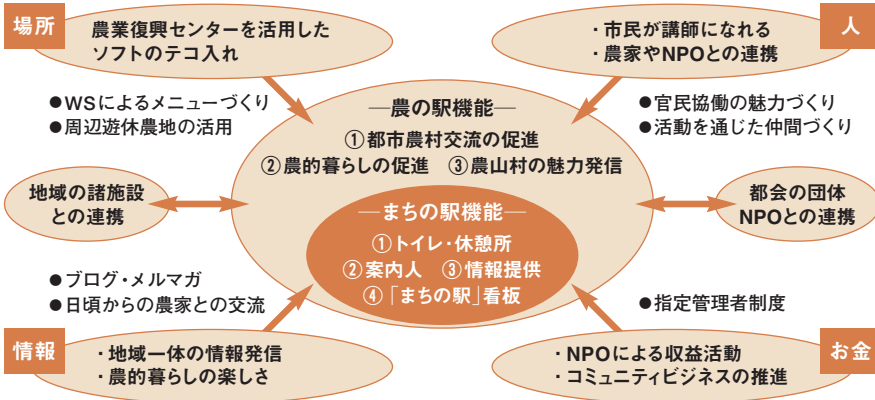


ふれあい農業まつりでの稲刈り体験



薬草を見つけながらの散歩と薬膳料理講座

■ 市民参加プロジェクト(農の駅づくりワーキング)の全体イメージ



者業務評価では最高ランクのAAを取得している。

また、市町村合併で大きくなった長岡市内には、地域交流の拠点「まちの駅」が38カ所登録されており、当施設も含めた官と民の交流ネットワークを形成している。このネットワークを活用して、人やモノの交流を図り、市町村合併で希薄になりがちな地域間の関係づくりにも役立っている。

■ 新しい役割と魅力

東京から移住した人が当施設の市民農園を借りており、地域住民との交

流を図る場になっている。また、郷土料理の講習会には定員25人を上回る90人の応募者があり、多くの若い主

婦が参加した。登り窯についても、興味のある市民がボランティアで窯づくりから体験の運営をサポートしている。主催者によると、意外なところにニーズが潜んでおり、いろいろな事業に取り組むことではじめて気づくもので、われわれが考えている以上に「交流」を求める人々が多いという。

当施設がある東山地区には市営のスキー場や牧場などがあり、今後はそれらの施設と連携しながら、農と健康をテーマに地区全体の活性化に貢献したいという意向を持っている。

プロジェクト概要	
所在地：新潟県長岡市栖吉町3670番地 土地面積：9322m ² 計画地域：市有地 土地利用規制：市街地調整区域	事業期間：長岡市ふるさと体験農業センター(平成22年4月運用開始) 農の駅あぐらって長岡⇒指定管理者に移行(平成19年4月～)
手法：●農ある暮らしの体験・地域農業の情報発信・都市農村交流の受け皿づくり ●関連の事業<農の駅づくりワーキング(平成17年4月～19年3月)> 市民参加プロジェクト(指定管理者運営以前)による施設の活用検討と試験的な体験メニューの運用⇒市民ボランティアによるサポート体制づくり・NPO自主事業における活用と発展	施行者(事業者)：NPO法人ながおか生活情報交流ねっと(指定管理者) 連絡先：TEL.0258-34-5360 FAX.0258-34-5357 営業：午前9時～午後5時(ただし、夜間の使用があるときは午後10時まで) 休館日：毎週月曜日および年末年始の12月28日から1月4日まで